

様式 2

学校名（豊岡市立五荘小学校）

実施日：12月19日（金）2校時	
教科等：社会科	
単元名：国力の充実をめざす日本と国際社会 資料名：「私の水平社宣言をつくろう」（『ほほえみ』令和4年度版）	
対 象：6年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国水平社創立に至った当時の社会の一側面を資料から読み取り、その背景にあった人々の切実な願いや思いを知ることができる。</li> <li>・ 水平社宣言に込められた「すべての人が尊重される社会への願い」を自分の生活に結び付けて考え、差別のない社会づくりに向けて、よりよい行動を考えようとする態度を育てる。</li> </ul>	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入では、既習内容を確認し、全国水平社創立時の背景を理解することで、歴史学習と本時の学習内容との橋渡しを行う。</li> <li>・ 展開では、教材『ほほえみ』に掲載されている水平社宣言（現代語訳）を用いて、宣言文に記された「切実さ」や「願い」がどのような言葉によって示されているかに着目して読み取らせる。</li> <li>・ 児童が選んだ「印象に残った言葉」と、その理由をワークシートに記述し、資料を手掛かりとした読み取りを深める。</li> <li>・ 後半では、宣言に込められた願いを現代の社会や児童の生活につなげて考えさせる。「すべての人が尊重される社会」とは何か、自分にできる小さな行動に視点を移し、未来志向の学びとなるよう構成する。</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童が授業でつかんだ気づきを、個別懇談等を通して保護者へ伝えることで、家庭でも子の思いが理解されるよう努めた。</li> </ul>	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に資料の扱い方や表現について教職員間で検討を行った。</li> <li>・ 授業後、児童の気づきや課題を学年内で共有し、次時へ活かせるよう改善を図った。</li> </ul>	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートの記述</li> <li>・ 発言内容と参加の様子</li> <li>・ 話し合い活動への参加の様子</li> </ul>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当時の人々の願いを「自分の生活」と関連付けて考える姿が見られた。</li> <li>・ 全国水平社の学習を通して、人権を守る社会づくりへの意欲が高まった。</li> </ul>	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的背景を扱う際、児童の実態に応じて適切な支援が必要である。</li> </ul>	